

## ◆主 題 名

支えあう家族

|                          |                                                |             |
|--------------------------|------------------------------------------------|-------------|
| 内容項目                     | C (14)                                         | 家族愛、家庭生活の充実 |
| 教材名・出典                   | 家族と支えあうなかで                                     |             |
| 本時のねらい                   | 父母、祖父母に対する敬愛の念を深め、家族の一員として協力し合って生活しようとする態度を育む。 |             |
| 生徒の実態を把握するために必要なアンケートの内容 | あなたにとって家族とは？                                   |             |

## 中心となる発問を主題につなげるために必要な発問

- ① 「私」が逃げてしまったのは、どんな気持ちからだろう。
- ② 母の話を聞いて、「私」はどう思ったのだろう。
- ③ 「支えあう」とはどういうことだろう。

## ◆ テーマ

(中心となる発問)

◎家族と笑顔で過ごすために、自分にできることは？

ねらいとする価値に迫るために・・・

## ◆学び合う

活動のねらい

 変容をねらう 多様さに気づかせる 考えを深めたり広げたりする  
 その他 ( )

## ねらいを達成するための手立て

- 1 心情円盤    2 ネームプレート    ③ 付箋紙    4 心のものさし  
 5 ICT    6 その他 ( )

## 学び合う活動のスタイル

- 1 Pw    2 Gw    ③ Fw    4 Cw    5 その他 ( )

## ◆最後の振り返り

この時間を通しての「本音」が聞けるように！

## 授業後の反省

○家族についての話題は生徒にとって、考えやすい教材であったのではないかと思います。特に、実際祖父母と同居している生徒も少なくなく、感想を見ても自分のことととらえて書く生徒が多かった。

○教材を通して、自分が支えられる立場から、支える立場になることを認識できた。しかし、中心発問である「家族と笑顔で過ごすために、自分にできることは？」の問いに、「一緒にいるだけで、幸せ」という意見がいきなり出たので、その後さらに掘り下げ、深めることができなかった。